室内給気部材

# 電動給気シャッター（フィルター付）

形名

# AT-150QEF3-BL
# AT-175QEF3-BL

優良住宅部品「BL」認定

取付工事・取扱説明書

**この電動給気シャッターは気密性の高い建物で汚れた空気を排気するときに必要な新鮮な外気を取入れるためのもので、レンジフードファンなどの換気扇に連動させて使用します。**

■ 取付工事を始める前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全に取付けてください。
■ 取付工事は販売店・工事店さまが実施してください。

**取付工事終了後は、必ずこの説明書をお客さまにお渡しください。**

ご使用の前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
なお、お読みになった後は、お使いになるかたがいつでも見られるところに保管してください。

優良住宅部品(BL)について
・当社の定める施工要領を逸脱しない据付工事に瑕疵が生じ、施工者が無償修理や損害賠償を行った場合、BLマークの証紙の貼付（または刻印等）がされている部品については、財団法人ベターリビングのBL保険制度により、保険金が支給されます。
・BL保険制度については、財団法人ベターリビングのホームページ(http://www.cbl.or.jp/)をご覧ください。

## 安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

**⚠ 警告** 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

| 時期 | 表示 | 内容 |
|---|---|---|
| 取付時 | 指示に従い必ず行う | ● 電動給気シャッターがメタルラス張り、ワイヤラス張り、ステンレス板などの金属と電気的に接続しないように取付ける〔電気設備の技術基準 解釈 第167条3項〕<br>（接続されていると漏電した場合、火災の原因になります）<br>● 漏電しゃ断器を取付ける<br>（故障や漏電のときショートや感電のおそれがあります）<br>● 外気の取り入れ口は燃焼ガス等の排気を吸い込まない、積雪で埋もれたりしない位置を選ぶ<br>（一酸化炭素中毒をおこすおそれがあります） |
| 取付時 | アース線接続 | ● アースを確実に取付ける<br>（取付けないと故障や漏電のときに感電することがあります） |
| 取付時・使用時 | 指示に従い必ず行う | ● 交流100Vを使用する<br>（交流100V以外を使用すると火災や感電の原因になります） |
| 取付時・使用時 | 水ぬれ禁止 | ● 製品を水につけたり、水をかけたりしない<br>（ショートや感電のおそれがあります） |
| 取付時・使用時 | 分解禁止 | ● 改造や必要以上の分解はしない<br>（火災・感電・けがの原因になります） |
| 使用時 | 禁止 | ● 室内側換気口を取付けしない状態でシャッターの運転を行わない<br>（感電やけがをすることがあります） |
| 使用時 | 指示に従い必ず行う | ● お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切る<br>（感電やけがをすることがあります） |

**⚠ 注意** 誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

| 時期 | 表示 | 内容 |
|---|---|---|
| 取付時 |  禁止 | ● 直接炎があたるおそれのある場所や油煙・有機溶剤・可燃性ガスのある場所には取付けない<br>（火災のおそれがあります） |
| 取付時 |  風呂、シャワー室での使用禁止 | ● 浴室など湿気の多い場所には取付けない<br>（感電および故障の原因となります） |
| 取付時 |  指示に従い必ず行う | ● 本体の取付工事は十分強度のあるところを選んで確実に行う<br>（落下によりけがをすることがあります）<br>● 配線工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う<br>（接続不良や誤った配線工事は感電や火災のおそれがあります）<br>● 本体の取付位置はガス機器の設備基準に従って炎の立消え等ガス機器への悪影響のない位置で室内が良く換気される位置とする（炎の立消え等で一酸化炭素中毒を起こすことがあります） |
|  取付時・使用時 |  指示に従い必ず行う | ● 取付け、お手入れの際は手袋を着用する<br>（着用しないとけがをすることがあります）<br>● 部品の取付けは確実に行う<br>（落下によりけがをすることがあります） |
| 使用時 |  禁止 | ● 本体に異常な振動が発生した場合は使用しない（本体・部品の落下によりけがをすることがあります） |
| 使用時 |  接触禁止 | ● 運転中は危険ですから、シャッターの中に指や物を入れない<br>（けがのおそれがあります） |
| 使用時 |  指示に従い必ず行う | ● 長期間使用しないときは、必ず分電盤のブレーカーを切る<br>（絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります） |

## 外形寸法図

単位（㎜）

| 形　名 | A | 適用パイプ口径 |
|---|---|---|
| AT-150QEF3-BL | 148 | φ150 |
| AT-175QEF3-BL | 172 | φ175 |

**付属部品**

表示シール………1枚

## お願い

- この電動給気シャッターを防火ダンパーとして使用することはできません。
- 下記環境下で使用しますと本体から結露水が滴下することがあります。
  屋外側温度－5℃以下で室内温度20℃・室内湿度50%RH以上
- 風雨の強いときなど雨が室内に浸入するおそれがあるため、連動ファンを停止し、シャッターを閉じてください。
- モーター、ランプは使用状況により寿命が短くなる場合がありますので、消耗部品としてお考えください。
- 40℃以上の高温となる場所で使用しないでください。
- 屋外環境(塩害地区、工業地域など)により錆が発生する場合があります。
- 外気(冷気)侵入や雨水浸入、虫侵入の影響のない場所を選び、屋外側にはフードを取付けてください。
  (例えば屋外側に軒のある場所や通路灯から離れた場所)
- 風の強い所では、深形フードや耐外風高性能フードをおすすめします。

## 取付方法

**取付け面の材質により取付け前の準備が異なりますので下記により取付け準備を行ってください。**
**なお、石こうボードや薄壁に木ネジで製品を直接固定しないでください。（木ネジが利かないことで製品が落下します）**

### 取付け前の準備

**コンクリート壁の場合**

単位（㎜）

1. 壁にパイプ（スパイラル管など）用の穴をあけパイプを埋め込み、モルタルなどで固定する。
2. 4か所の取付位置にφ14深さ47mmの穴をあけ、市販のM8AYプラグ（PY4004）を挿入し、打ち込む。
3. 屋内配線をJIS C 8340小形1個用スイッチボックス（カバーなし）を介して速結端子に接続できるよう引き込む。

**お願い**

- パイプは室内側壁面から出ないように固定してください。
- アンカーボルトを用いて施工する際、仕上げ壁面から15mm以上突出しないでください。
  （室内側換気口が取付けできなくなります）

**PC板壁の場合**……三菱電機製のパイプスリーブ（P-18・21QPS）を使用した場合

単位（㎜）

1. パイプスリーブに付属の取付説明書によりパイプスリーブをPC板に打ち込む。穴あけ寸法は、PC板穴あけ寸法図を参照する。
2. 屋内配線をJIS C 8340小形1個用スイッチボックス（カバーなし）を介して速結端子に接続できるよう引き込む。
3. 壁面を仕上げる。寸法は仕上げ壁穴あけ寸法図を参照する。

■ PC板穴あけ寸法図

単位(mm)

| 形　名 | A |
|---|---|
| AT-150QEF3-BL | 160 |
| AT-175QEF3-BL | 184 |

■ 仕上げ壁穴あけ寸法図

単位(mm)

| 形　名 | B |
|---|---|
| AT-150QEF3-BL | 165 |
| AT-175QEF3-BL | 190 |

**石こうボード・板壁（薄板を含む）に取付ける場合**

単位（㎜）

1. コンクリート壁と同様取付位置にパイプを固定する。
2. 4か所の取付位置に市販の石こうボード用プラグ（市販品）を取付ける。
3. 屋内配線をJIS C 8340小形1個用スイッチボックス（カバーなし）を介して速結端子に接続できるよう引き込む。

**お願い**

- パイプは室内側壁面から出ないように固定してください。
- 板壁に製品を直接取付ける場合、取付面板厚が20mm以上になるよう補強板（お客さま手配）を取付けてください。

# 取付方法　つづき

## 本体の取付け

※本体と室内側換気口を仮止めしているテープをはがす。

木ネジの場合はφ5取付穴を使用してワッシャーと共に取付ける

1.電源部カバーのネジ1本をゆるめて、下にずらしてはずす。
2.屋内配線を電源引込用穴から引き込む。
3.本体を固定する。

**コンクリート壁の場合**

本体をパイプに差し込み、市販のM8AYボルト(PY4004)でφ10取付穴を用いて固定する。

**お願い**

● 製品をナットで固定する場合はダブルナットなどによりゆるみ止めを施してください。

**PC板壁の場合**…三菱電機製のパイプスリーブ（P-18・21QPS）を使用した場合

本体をパイプに差し込み、市販のM6ボルトでφ10取付穴を用いてワッシャーを介して固定する

**板壁の場合**

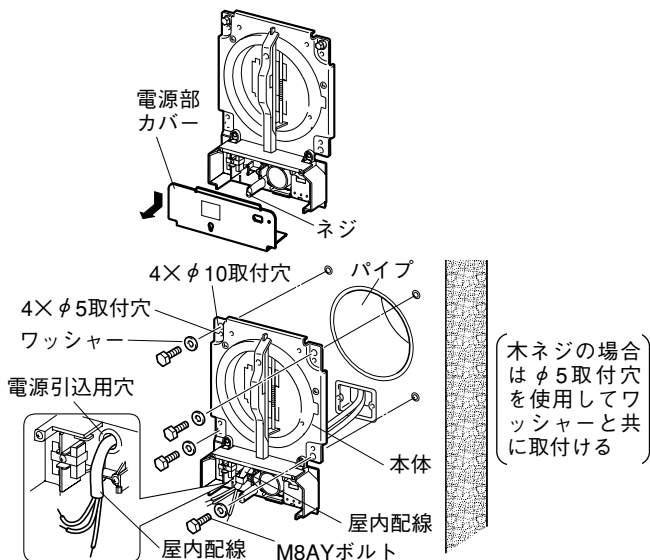
本体をパイプに差し込み、市販の木ネジ(4.1×20以上)でφ5取付穴を用いてワッシャーを介して固定する。

● 取付け用ネジはステンレス製を使用しない。
(電触をおこし、錆びるおそれがあります)

## 電気工事

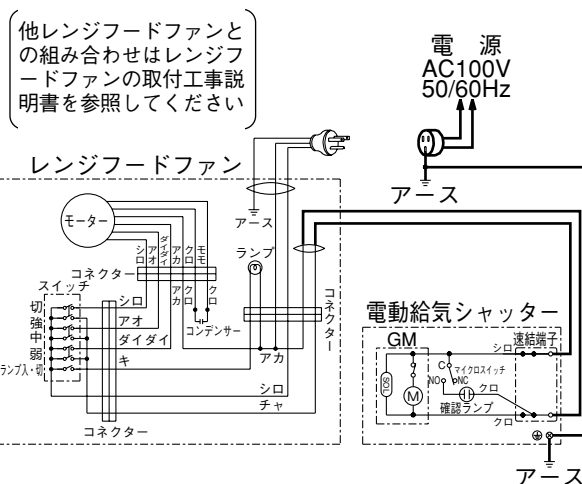
1.コードクリップのネジをはずす。
2.屋内配線(VVFケーブルφ1.6～φ2.0・皮ムキ長さ12mm)の長さはコードブッシュから先端までを110mmとし、外皮はコードブッシュから40mm残す。(図-1)
3.屋内配線の外皮部分をコードクリップで固定する。(図-1)
4.電源線を図のように曲げて端子台に根元まで確実に差し込む。(図-2)
●レンジフードファンと連動する場合は結線図を参照して結線をする。
5.本体のアース端子をはずしてアース線にかしめ、アース固定ネジで元通り固定する。
6.電源部カバーを元通り取付ける。

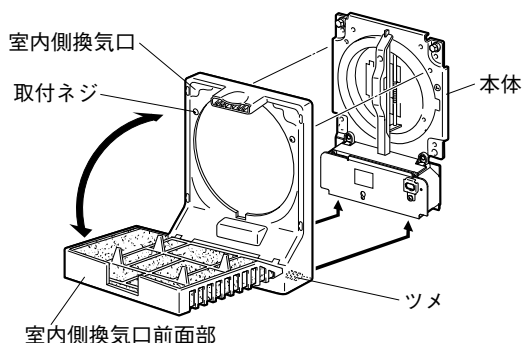
**お願い**

● 端子台から屋内配線をはずす場合、リリース方向は本体貼付けの注意銘板を参考にしてください。

### 結線図

■ 太線部分の結線を行う。

三菱電機製のKL-BLタイプのレンジフードファンを使用した場合

● レンジフードファンの回転と同時にシャッターが開く。

他レンジフードファンとの組み合わせはレンジフードファンの取付工事説明書を参照してください

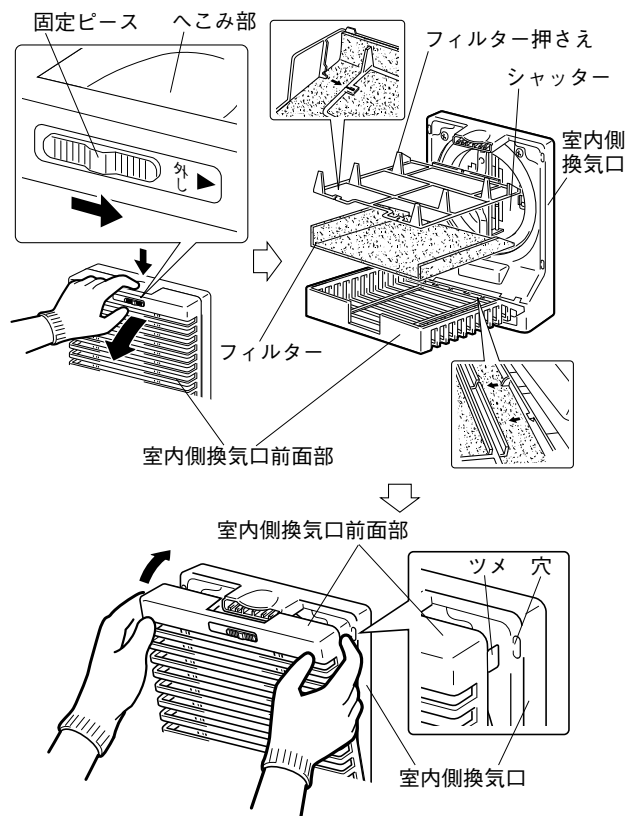
## 室内側換気口の取付け

1.固定ピースを「外し」側へ動かす。
2.室内側換気口前面部を開ける。(「お手入れ」参照)
3.室内側換気口下側のツメ2か所を本体に引っ掛ける。
4.室内側換気口上側の取付ネジで本体に固定する。
5.室内側換気口前面部を閉じる。(「お手入れ」参照)

**お願い**

● 必要により付属の表示シールを表示が見やすいように製品に貼り付けてください。

# お手入れ…フィルターの清掃は2か月に1回を目安に行い、水洗い5～6回を目安に交換用フィルター（AT-150QEF2-F）に交換する。

**交換用フィルターは当社で販売しております。お買上げの販売店または下記へお申し付けください。**

**■ 室内側換気口・シャッターが汚れてきたら中性洗剤を浸した布で汚れをふき取り、洗剤が残らないよう乾いた布でよくふき取る。**

1. 固定ピースを「外し」側へ動かす。
2. 室内側換気口前面部のへこみ部に手をかけ、手前に引いて開ける。（室内側換気口前面部ははずせません）
3. フィルター押さえをはずし、フィルターをはずす。
4. フィルターの清掃は掃除機でほこりを吸い取る。汚れのひどい場合は、薄めた中性洗剤に浸し押洗いする。
5. 室内側換気口の汚れをふき取る。
6. フィルターを取りはずしと逆の順序で取付ける。
7. 室内側換気口前面部を両手で押さえ、室内側換気口前面部側面にあるツメ6か所を室内側換気口の穴6か所に押し込む。室内側換気口前面部と室内側換気口との間に浮きがある場合は、室内側換気口前面を押さえ、ツメが入るまで確実に押し込む。
8. 固定ピースを「固定」側へ動かす。

**お願い**

- お手入れに下記の溶剤・洗剤等を使用しないでください。
  シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、アルカリ洗剤、化学ぞうきんの薬剤、クレンザー等けんま材入りの洗剤（変質・変色する原因になります）
- 室内側換気口は取りはずさないでください。
- フィルターを熱湯で洗ったり、もみ洗いしたり、直接火で乾かすことはしないでください。
- お手入れの際シャッター部に触らないでください。
  （故障の原因になります）

# アフターサービス

アフターサービスは、お買上げの販売店か下記の連絡先へご相談ください。

## ■補修用性能部品の保有期間

当社は、この電動給気シャッターの補修用性能部品を製造打切り後6年保有しています。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
ただし、その後4年間は補修用同種部品または交換可能な同種製品などを供給します。

## ■優良住宅部品（BL）について

この電動給気シャッターは（財）ベターリビングにより優良住宅部品の認定を受けたもので、BLマーク証紙を貼り付けてあります。優良住宅部品が住宅に据え付けられ引き渡されたのち2年以内にメーカー責任不良が発生した場合は、優良住宅部品の保証制度により無償で修理を保証いたします。
また、下記特定部分については優良住宅部品が住宅に据え付けられたのち、5年以内にメーカー責任不良が発生した場合は優良住宅部品の保証制度により無償で修理を保証いたします。

| 特定部分 | 室内側換気口（ただし、モーター等電動機構部品、除く） |
|---|---|

**ただし、下記の事項に係る修理は無償修理保証の対象から除きます。**

1. 住宅用途以外で使用した場合の不具合
2. ユーザーが適切な使用、維持管理を行わなかったことに起因する不具合
3. メーカーが定める施工説明書等に基づかない施工、専門業者以外による移動・分解などに起因する不具合
4. 建築躯体の変形など住宅部品本体以外の不具合に起因する当該住宅部品の不具合、塗装の色あせ等の経年変化または使用に伴う磨耗等により生じる外観上の不具合
5. 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
6. ねずみ、昆虫等の動物の行為に起因する不具合
7. 火災・爆発等事故、落雷・地震・噴火・洪水・津波等天変地異または戦争・暴動等破壊行為による不具合
8. 消耗品の消耗に起因する不具合
9. 指定規格以外の電気を使用したことに起因する不具合

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.


# 株式会社メルコエアテック

〒508-8691 岐阜県中津川市駒場526-2 フリーダイヤル TEL: 0120-66-9893 FAX: 0120-66-9895
ホームページアドレス: http://www.melcoairtec.co.jp


0811873HJ2603